

やりとりができた夜の部でこそ、講演（？）できたかな？

先日、ある管内の重症児、筋ジスの療育に携わる方々、約60名に講演する機会をいただいた（講演レジメは、「雑学 BN」の「講義等関係（Ⅱ）」P、2006.01.21.「今、改めて重症児（者）と向き合う」・レジメ：参照）。

現職時代の旧知の方もいたが、殆どが初めてお会いする方々。

数人からの後日の初メールの中に、次のような記載が……。

・講演だけでなく、その後の懇親会や二次会とたくさんのお話が聞けて大変勉強になりました。阿部さんがおっしゃっていた「本当の研修会は夜の部だ」という意味がすごくわかりましたし、すごく楽しかったです。

日頃の生活態度を見直し細かい所から気をつけるよう心掛け始めました。

・はじめてのメールに緊張しています。昨日は貴重なお話をご講演から深夜までありがとうございました。

HPも拝見して幅広い内容に圧倒されました。アンテナが低く、あまり情報をもてない自分ですが、さっそくこちらを利用してステップアップしていきたいと思います。

ところで、私の率直な感想ですが「多忙な阿部さんはいつ寝ているんだろう？」でした。

HPの莫大な情報量、忠実なメールのやりとりだけでも時間かかりそうです。

・先生の本を以前に読み、実践に基づく非常にわかりやすい内容で、嬉しくなりました。その先生にお会い出来た上に、こうしてメールを送るなど夢のようです。

懇親会後の、バイタリティあふれる、先生のお話に、さらに心が揺れました。先生の話は、ホットするんです。仕事をしている自分の背中を、「そっと強く」押してくれる気がするんです。

・また阿部さんのご講演に是非参加させて頂きたいと思っていますし、懇親会のような席でもまたご一緒できたらと思います。ありがとうございました。

旧知の方からは、「ご講演・懇親会、二次会とお付き合いいただきありがとうございました。相変わらずの熱い想いと元気さに改めて驚きました。」とか。

また、いつの間にか阿部節（？）を唸ってしまったのかなぁ～。

やはり、昼間の2時間の講演より、やりとりができた夜の8時間こそ、自分が望む講演（？）ができたかな？

久しぶりに、現役に戻ったような気分を感じさせていただいた。自分こそ、みなさんにお礼を云いたい。

また、新たな出会いを願うなら、それなりに自分自身も更に努力をしなくっちゃぁ～ネ。

(2006年1月25日 記)